

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016/7/5		
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	デザイン科学専攻		

1. 留学先について

留学先大学名	the Glasgow School of Art		
留学先所属学部等	Product Design		
留学期間	出発日 9月4日	入学日 9月1日	修了日
			帰国日
住居	<input type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()		
	通学時間	20分	<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩	
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊 80 %	学食 10 %	外食 10 % その他 () *%で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	Osma 付帯型保険	
	大学指定の保険(名称)		<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)		
	成田 ⇔ ロンドン(飛行機) ⇔ グラスゴー(バス)		

2. 留学にかかった費用について

2-3. 内訳

*外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			11万	円
海外旅行保険			8万	円
OSSMA			3千	円
査証・在留許可証	ユーロ	300	4万	円
住居			65万	円
食費			30万	円
通学に要する交通費			1万5千	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面*必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
1 Product Design	正規	5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	無
2 FoQ	正規	20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
3			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください

コースごとに受ける授業が全て決められており、コース全体で一つの授業を受けるので授業科目の選択はほぼありませんでしたが、FoQといういわゆる座学の授業は9つほどのクラスに分かれており、その中から1つを選んで取る必要があった。座学の授業はオンラインで登録。

3-2. 授業内容、方法に関して

コース全体をプロジェクトごとに幾つかのグループに分けて行われる。また、週に2,3度全体への進め方の講義や各グループごと、個人ごとの指導があった。その他の時間はコースに与えられた作業場所でグループ、個人で作業を行っていた。

3-3. 語学力について

コース全体の半数以上が英語を母国語とする人であったため、特にコース全体での話し合いについていくはとても大変であった。また、スコットランド訛りは聞き取りにくいことが多々あった。

3-4. 図書館など学内施設について

工房はルールが決まっていたが、そのルールの中で自由に利用をできた。しかし、プレゼン前は様々なコースの人たちで混み合うため、場所が足りないこともしばしばあった。図書館も広くはないがメインの校舎のすぐ隣にあって便利であった。

3-5. その他

4. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

パキスタン人の大家さんとその2歳の子供とフラットシェアをしていました。光熱費と共用部の掃除は家賃に込みでした。

4-2. 食生活について

外食は高い上にあまり美味しくないなので基本的に自炊をしていました。また、学校のカフェテリアでは頼むとお弁当を温めてもらったので、よくお弁当も持って行っていました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

もともと日本で使っていた携帯をSIMフリーにして持って行き、プリペイドSIMを買って使っていました。

4-4. 服装について

雨が多いので防水のものや、フード付きの上着があると便利です。

4-5. 健康管理について

雨が多いのでぬて風邪をひかないように、そして乾燥しているので喉を痛めやすいのでそこも注意が必要です

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

喉を痛めてしまい、一度病院を受診しました。また、携帯とiPadを落として壊してしまい、保険を使いました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

小さな便箋、スケッチブックやノート、ペンなど愛用の文房具

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

グラスゴー美術大学はファインアート・デザイン・建築の3つの学部からなり、デザイン学部にはプロダクトデザインの他にインテリアデザイン、テキスタイルデザインなどのコースがあります。それぞれのコース、学年ごとに作業スペースが用意されています。授業はプロジェクトベースで約5週間の区切りで1つのプロジェクトを行いました。また、プロジェクトと並行して週1回の座学の授業がありました。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

グラスゴー美術大学での授業は主にグループワークであったため平日は毎日大学でプロジェクトを進めていました。グループメンバーと話し合ったり、個別に作業をするというのを繰り返し、週に何度か先生が次のステップの説明をしたり、個別もしくはグループごとに進み具合をチェックし、アドバイスをもらうことができました。学期末には週1回行われる座学の授業のレポート提出があり、メインのプロジェクトをやりつつ、レポートの作成を行う必要があり、少し大変でした。週末はどこかへ行ったり、料理をしたりと気分転換をしつつ、プロジェクトの進捗によっては自宅で作業を進めることもありました。また、食事は基本的に自炊をし、学校にもお弁当を持って行っていました。学食で頼むとお弁当を温めてもらえるのでとても重宝しました。また、クラス全体で同じ授業を受けるためクラス全体で仲良くなることができ、度々学校帰りに学校併設のバーへみんなで行くこともありました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

グラスゴーはイギリスのスコットランドにあるため、ネイティブの英語についていくことは難しく、街中でもスコットランド訛りの言葉は聞き取りにくいことがあります。しかし、クラスの半分ほどは交換留学生となるのでグループメンバーと上手くコミュニケーションをとることで授業にはついていくことが可能だと思います。また、FoQという授業で英語のレポートを書く必要があるので、英文レポートの書き方を学んでからいくと慌てずに済むと思います。グラスゴーの街には公共交通機関としてバスと地下鉄がありますが、中心地はとても小さいので徒歩でも十分に移動することが可能で学校も中心地に近いので何かと便利だと思います。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

グラスゴー美術学校とアールト大学の2校へ留学を留守ことで、それぞれ違った文化、環境、教育システムの中で様々なことを学ぶことができました。しかし一方で、半年ずつしかいらなかったため期間が短く不完全燃焼のように感じる部分もあります。元々の英語力が低かったためかなり英語の壁を感じることもありましたが、日本ではなかなか成長しづらい英語でのコミュニケーション的な部分は鍛えられたのではないかと思います。もちろん、デザインに関しても日本とは違う切り口で考え、作品を作ることができ、次は日本で何ができるのだろうか、と考えています。

お疲れ様でした

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016/7/5		
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	デザイン科学専攻		

1. 留学先について

留学先大学名	Aalto University School of Art, Design and Architecture			
留学先所属学部等	Collaborative and Industrial Design			
留学期間	出発日 12月23日	入学日 1月5日	修了日 5月31日	帰国日 6月21日
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()			
	通学時間	40分	<input type="checkbox"/> On campus	
	通学方法	バス		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 60 %	学食 30 %	外食 10 %	その他 () %で記入してください

渡航ルート	ex.) 成田⇔シカゴ(飛行機)⇔ウィスコンシン(電車)		
	グラスゴー ⇔	ヘルシンキ(飛行機)	⇔ 成田(飛行機)

3. 学業面*必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex. 正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無	
1 Col our Desi gn	正規	10	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
2 Experi ence Dri ven Desi gn	正規	10	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
3 Desi gn Strategy Proj ect	正規	10	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
4			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
5			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
6			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
7			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
8			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
9			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
10			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
11			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
12			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
13			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
14			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
15			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
16			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
17			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
18			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
19			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
20			有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明し

所属コース開講のものまたは、全体へ開講しているも授業から好きなものを履修。授業によって履修登録の時期や方法が微妙に異なるが、基本的にはオンラインで履修登録。

3-2. 授業内容、方法に関して

週に1,2回の頻度で授業が行われ、プロジェクトと講義の二本立てで行われることが多かった。また、プロジェクトは基本的にグループワークで行われた。

3-3. 語学力について

フィンランド人は基本的に訛りの少ない英語を話すため、比較的話し合いなどにおいても聞き取りやすかった。また、参考文献を読むことも多かったので読む力は少し伸びたと感じる。

3-4. 図書館など学内施設について

金工、木工、陶芸など様々な工房があり、講習を受けるとその工房が使えるようでした。また、図書館は公共の図書館が学内にありそこを使うことができました。

3-5. その他

4. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

3人用のアパートシェアで、日本人とフランス人のフラットメイトと住んでいました。光熱費は家賃に含まれていました。

4-2. 食生活について

学食が安く、ボリュームもあったので学校へ行った時はほぼ確実に利用していました。また、ヘルシンキ市内の別の大学の学食も利用できたため、ヘルシンキ大学の学食なども利用しました。

4-4. 服装について

とにかく冬は寒いので重ね着という感じでした。ブーツや小物類は現地で買いました。

4-5. 健康管理について

屋内は常に18度以上に設定されているので暖かいのですが、屋外はとにかく寒いので脱げるような防寒が必要です。また、乾燥しているので、保湿クリームなども欠かせません

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

アールト大学は総合大学で、エンジニアリングやビジネスなど6つの学校に分かれており、デザインは芸術、建築とともに一つの学校となっています。また、学部の授業はフィンランド語ですが、大学院の授業はすべて英語で行われるため。正規、交換ともに留学生がとても多くなっています。また、実際の企業との協働でリアルなプロジェクトを行うこともしばしばあり、とても実践的にデザインを学ぶことができると思います。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

アールト大学ではピリオドごとに授業が開講され、各自自分の所属するコースまたは解放されているコースの中から興味にあわせて授業を取ることができました。大学院の授業はすべて英語で行われ、街中でもほとんどの場合英語が通じました。授業は講義とプロジェクトを並行して行うことが多く、概ね週に1回または2回の講義と個別指導の時間で構成されていました。また、宿題として参考文献が渡され、授業でその内容についてのディスカッションを行うこともありました。プロジェクトは実際の企業と共同することも多く、グループワークが大半でしたが、作業スペースがあまり整っていなかったため、学校よりも家からオンラインでグループワークをすることがしばしばありました。学校の学食はとても安くボリュームのある食事をとることができ、とても助かりました。また、学内のシステムがオンライン化されており、便利な反面、事務の窓口は開いている時間が決まっており、タイミングが合わず用事があっても訪れにくいことがありました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

アールト大学のデザイン科はヘルシンキ市内の中心地から少し離れた場所にあるキャンパスに位置していますが、2018年ごろにメインキャンパスであるエスポーの小谷エミキャンパスへ異動が決まっています。アールトの大学院はフィンランド人よりも正規または交換留学のフィンランド以外の国出身の学生が多く、学内の公用語はまさに英語という感じになります。また、働きながら大学院に通う学生も多く、長く大学院に在籍している学生も多いです。授業によっては自分のコース以外のコースの学生と一緒に授業を受けるため、他の分野の学生と交流することができてとても良い刺激を受けることができます。